



奈良市地球温暖化対策地域協議会

## 「ならエコ・エコの和」NEWS No.27

発行日：2012年6月15日

### これからの予定

- ・6月21日(木)～7月2日(月) ボランティア・NPO団体パネル展(環境保全)に出展  
(於:ボランティアインフォメーションセンターのロビーと通路)
- ・7月17日(火) 午前10時～12時 エコエコサロン「クッキング」  
(於:大阪ガスクッキングスクール奈良:近鉄学園前)

### 幹事会と定例会合

- ・6月19日(火)午後1時半～4時 環境教育プロジェクト会合(於:ボランティアインフォメーションセンター会議室)
- ・6月22日(金) 午後2時～4時 省エネ・創エネプロジェクト会合(於:西部公民館第2会議室)
- ・6月25日(月) 午前10時～12時 3Rプロジェクト会合(於:ボランティアインフォメーションセンター 1-2会議室)
- ・7月11日(水) 午後2時～4時 社会実験WG会合(於:市役所北棟6階第23会議室)
- ・7月20日(金) 午後2時～4時 交通プロジェクト会合(於:中部公民館の予定)
- ・9月10日(月) 午後2時～4時 第39回幹事会(於:市役所北棟6階第23会議室)

### ご挨拶

NEW会長 村木 正義

5月19日(土)開催の第5回総会において、23年度の活動報告、決算報告が承認され、24年度(今年4月～来年3月)の活動計画(案)と予算(案)が質疑応答の後に原案通り可決承認されました。ありがとうございました。

また、役員交代で承認された副会長の新井哲彰氏(奈良市環境政策課長)、幹事の松久保伽秀氏(薬師寺執事)を加え役員一同この一年執行して参りますので、ご協力の程よろしく申し上げます。

ならエコ・エコの和は自主的に参加した会員の皆様の意向により運営するとして3年半、NEWの名の恥じない新たな取り組みも進められてきました。昨年度は社会実験「市民の省エネ活動を支援する仕組みづくり」をはじめ、各プロジェクトでも新しい取り組みが企画され、進められたことを感謝致しております。今年度はそれをベースにさらに飛躍をしたいと考えております。この激しい変動期、留まることなく、邁進していきたいと思っております。

NEWからも市民ワークショップの委員を送り積極的に参画した、環境基本計画がこの3月に、また地球温暖化対策実行計画が昨年3月に策定され、奈良市の環境政策の方向付けがなされました。それらを受けNEWとしても、われわれの思いを実現して行くように活動していきたいと思っております。ご協力の程よろしく申し上げます。

## ○第5回定期総会 開催

5月19日(土) 午後1時～2時45分 (於: 奈良市中部公民館4階 第4講座室)

村井市職員の司会で開会し、会長の開会のあいさつ、油谷課長補佐の出席者23名、委任状17名、合計40名で、過半数となり総会が成立するとの報告がありました。

議長選出が行われ、選出された黒飛副会長により以下議事が進められました。

第4期活動報告(会長)、決算報告(中北幹事)、会計監査報告(福山会計監査)があり、承認されました。なおそれに対し、会費未納の人がいるのではないかと、それをはっきりすべきではないかとの質問があり、はっきり把握できていないケースもあるので今後対処していくとの答弁がありました。

次に、会則等改定に関して油谷補佐から報告がありました。それに対し、第5条で、幹事「若干名」とあるが、現実とあうように表現を整えるべきではないかとの質問があり、幹事会などでも話し合っているが結論に至っていない。表現について検討するとの答えがありました。

そのほか、学生会員は現在何人いるのか、学生の会員を獲得する努力はしているのか。情報収集活動を予算化し、充実させるべきではないか。将来的に準会員やサポータ会員を設ければ、もっと会員数を増やせるのではないかと。第13条の賛助会員随意というのはおかしいのではないかと。などの指摘がありました。会員獲得、情報収集・発信は重要なテーマで今後検討していく必要を認識しているとの答えがあります。

役員の退任と選任があり、退任された大西副会長、生駒幹事への謝辞が会長から述べられました。また昨年末に急逝された上田前幹事に哀悼の意が示されました。



次に、平成24年度(第5期)の事業計画案(会長)と予算案(中北幹事)の提案があり、可決承認されました。なお、その際の質疑応答で、省エネ・創エネ推進活動費が前期126万円から47万円に減っているが、社会実験はやめたのかとの問いに、社会実験は今年6月で終わるが、この仕組みを政策として実施してもらうような働きかけを行っていくとの考えが述べられました。

また、会報が3ヶ月に1回になっているが、1ヶ月に1回発行すべきであるとの指摘に対し、23年度から会報を月刊から季刊にし、各プロジェクトが担当するようになり内容もよりわかりやすいものとなったと思っているとの答えがありました。

全ての議事が終わり議長が降壇され、第5回定例総会は無事閉会しました。

最後に、副会長の新井課長より今年3月に策定された「奈良市環境基本計画(改訂版)」について説明があり、今後の協力要請がありました。

## ○総会記念講演会

5月19日(土) 午後3時～4時 (於: 奈良市中部公民館4階 第4講座室)

講師: マツユキリサイクル社長 松岡幸一氏 「捨てない、焼かない、生かしてリサイクル」

総会に引き続いて、3Rリーダーの栗岡さんの司会で、講演会を開催しました。

「捨てない、焼かない、生かしてリサイクル」と題して、前半は(株)マツユキリサイクル(NEW団体会員)の社員の方(社長のお孫さん)から会社の事業内容や海外事情を含めた古着のリユースについての説明があり、後半は、松岡社長による講演が行われました。

(株)マツユキリサイクルは、最初古紙のリサイクル業から始め、7年前より古着のリユース業を行っており、現在、月に古着を平均450t集め、開発途上国へ送っている。これは、年間6,600トンのCO2を削減していることになり、地球環境にやさしい事業であるといえます。

古着の回収システムは、①リサイクルショップ、②行政による資源・ゴミ回収、③業者による資源回収の3つがあるが、このうち①は主に高額品が対象であり、マツユキリサイクルは③にあたる。リユースの方法としては、まずリユースできるものとできないものに分け、プレスし、次に形や用途別に150種類に分別し、40～100kgの重さのかたまりで梱包し、海外へ送っている。

今回の講演では、開発途上国では必ずしも高額なものが喜ばれるのではなく、普段使っているようなものやこどものものなどが喜ばれるということが分かり、リユースに対する認識が変わるとともに、リユースの意義や方法についても知ることができ、有意義な講演でした。また、「ごみと思えばごみだが、海外ではごみではない」「事業を大きくしすぎない勇気が大事」「人知の及ばない大いなるものへの畏敬の念」「驕り高ぶってはいけない。豊かになるなら責任が必要」など感銘深い言葉が多かった講演でした。



## ◎幹事会

○第37回幹事会 5月8日(月)午前10時～12時(於: 市役所23会議室。出席者: 幹事11名と他2名)

総会前の最後の幹事会として、総会資料の最終確認、総会および総会記念講演会の運営・役割分担、今後の活動について協議しました。

確定された総会資料等は当日午後全会員に向けて発送されました。

○第38回幹事会 6月11日(月)午後1時～4時(於:市役所23会議室。出席者:幹事8名と他2名)

総会后初の幹事会で、NEWおよびサロン・社会実験WG・各プロジェクトの活動スケジュールを確認しました。また、幹事会の役割について討議し、清水幹事に広報担当をお願いしました。

総会で指摘された点について対応を協議し、とくにNEWSの発行は昨年同様季刊とするが、その間の会合予定などの連絡については別に検討することになりました。

○次回、第39回幹事会 9月10日(月)午後2時～4時(於:市役所第23会議室)

## エコエコサロン

(担当 岡野幹事 Tel 0742-44-0310)

### ○エコエコサロン開催

5月22日(火) 午後1時半～3時半(於:奈良市役所 北棟5階 第21会議室)

総会記念講演会、「捨てない、焼かない、生かしてリサイクル」を受ける形で、今回は、「もったいない」をキーワードに、皆さんと共に考え、話し合う場として開催しました。

最初に、3Rのリーダー栗岡さんから、DVDを使い、ペットボトルによる汚染の惨状が紹介されました。市が回収するペットボトルには、本来水曜日に回収されるはずのプラスチック製容器包装であるシャンプーボトルや食油のボトルなどが多く混入している。それらは異物として焼却されている。その焼却によるCO2排出量は、ペットボトルを回収するトラックが出しているCO2排出量よりも多いくらいである。また、全国的にペットボトルの散乱が増えている。それらは川から海へ流れて行き、劣化して小さく砕け、やがて「プラスチック微粒子」となり、回収の難しい、悲惨な環境汚染を引き起こしているとの実態が紹介され、ことの重大さを実感しました。

そのあと、皆さんの「こだわっているもったいない」を出してもらい、それを中心に3Rの観点からどうすべきかまで発展的に話し合いが進みました。日々の生活の中で、食べる物・着る物・身近な持ち物などのムダ。「安いから」と、つい買ってしまった物。「型が古いから。」と、捨ててしまう服・靴・カバンが沢山あると。

### ○次回のサロンは、どなたにも楽しい「クッキング」です！

日時 7月17日(火) 午前10時～12時 (集合10時 開会は10時20分)

場所:大阪ガスクッキングスクール奈良 奈良市学園北2-4-1(近鉄学園前駅・北口より徒歩3分。車でのご来場はご遠慮下さい。駐車場がございませんので)

今回は、NEWの団体会員でもある、大阪ガスさんにご協力を頂きまして、大阪ガスクッキングスクールでクッキングをさせていただく事となりました。

いつもとは違うスタイルで、楽しく、和合の時間にさせて頂ければと思っております。トライアルレッスンですので、料理の経験が少ない方！ 男性の方も大歓迎です！

○クッキング内容(和カフェ)

- ・具だくさん味噌スープ ごま風味
- ・ヘルシー鶏肉ママレードソース
- ・スティック春巻き
- ・雑穀ごはん
- ・和風プチサンドケーキ

○持ち物： エプロン、ハンドタオル、三角巾(頭を覆う物)

○参加費 : 500円

6月15日現在24名が集まりました。ありがとうございます。申し込まれたみなさまは必ず当日ご参加くださいませ。

(連絡先: 岡野 chick@sea.plala.or.jp)

## 活動報告

### ◎社会実験ワーキンググループ

(担当 村木会長 Tel 0742-49-6326)

#### ○3回の会合(4月10日、5月9日、6月6日)をもちました

社会実験の運営、とくに参加者の電気・ガス使用量の確認とCO2削減量の決定方法、社会通信第4号について話し合いました。社会実験終了式(表彰と削減量買い取り)の日程を10月27日(土)午後に決めました。

#### 社会実験の今後の予定

- 6月末 参加者の省エネへの取り組みを終了(電気・ガス使用量の報告は6月分で終了)
- 7月中旬: 全参加者に社会実験への参加と達成のお礼。通信第4号(最終号)発行。
- 7月中旬～8月 社会実験参加者の2年分の電気・ガス使用量の確認とCO2削減量を決定。
- 9月 社会実験結果の解析と仕組みの改良
- 10月27日 社会実験終了式(表彰と削減量買い取り)
- 11月 最終報告書発行

○「解析班」を中心に、社会実験結果の解析と仕組みの改良について検討を始めました。また、この仕組みを広く知ってもらうために、9月に東北大学で開催される環境経済・政策学会2012年大会で、仕組みの提案と社会実験について発表することを決め、現在準備中です。

○社会実験後の取り組み「ポスト社会実験」について話し合う会合を5月30日(水)にもち、さらに6月15日(金)に第2回会合を持ちます。

○奈良県地域貢献活動助成事業に関して、

- ・23年度の助成事業の実施成果報告会が7月21日(土)午後奈良商工会議所で開催されます。報告会用の資料を作成・提出しました。
- ・24年度の助成事業申請を5月7日(月)に行いました。6月2日(土)に第二次審査のプレゼンテーションがあり、昨日採用された旨の連絡がありました。

○次回会合予定： WG第22回会合は7月11日(水)午後2時～、奈良市役所北棟6階第23会議室

**〇〇お願い〇〇 アイデア募集中**

10月27日(土)午後に予定している社会実験終了式(表彰と削減量買い取り)に引き続き、参加者とNEWのスタッフ(市も含み)の交流会を行うというアイデアも出ています。

皆様のアイデアで楽しい会で盛り上がりたと思っていますので、奮ってアイデアや運営に参画下さい。

なお、言うまでも無く、この社会実験は省エネ・創エネプロジェクトから出たアイデアではありませんが、大きなテーマだからNEW全体で取り組もうとワーキンググループ(WG)を立ち上げ、WGが担当してきました。お蔭で、多くの方々のお力で順調に進んできました。(蛇足)

**◎省エネ・創エネプロジェクト**

(担当 村木会長 Tel 0742-49-6326)

○2回の会合(4月16日、5月23日)をもち、

・ 昨年度の総括

予定通り、省エネシンポジウム(1回)、セミナー(3回)、小グループとの情報交換会(3回)を開催した。内容は総じて良かったが、準備が十分でなかったり、市民への周知が不十分であったケースもあり、今後の反省材料にという意見がありました。

23年度大阪コミュニティ財団の助成に対し活動報告を6月までに行うべく準備中です。

・ 今後の活動

今後の活動について話し合いました。夏の省エネセミナーは準備の関係から見送り、冬の省エネセミナーをしっかりと企画・実施する。また小水力発電の可能性を講師を招いたり、見学・視察会を行い、検討する、などの意見が出ました。順次具体化していく予定です。

○次回、第46回会合 6月22日(金)午後2時～(於：奈良市西部公民館第2会議室)

**◎環境教育プロジェクト**

(担当 黒飛副会長 Tel 0742-24-1618)

○例会 4月24(火)午後1時半～4時 場所:ボランティアインフォメーションセンター 会議室

・NEW環境出前講座のリーフレットを完成し、幼稚園・小学校などに配布すること。

・公民館に向けての出前講座は、講師派遣事業として行い、統一した基準を設けるべきとの意見で一致しました。

○NEW環境体験講座開催

環境体験講座として、4月7日(土)に佐保山フィールドで、また4月15日(日)に北永井フィールドで菜の花祭りを実施しました。それぞれ65名、80名の参加者で賑わいました。

菜の花観察、天ぷら、ゲーム、歌、旬当てクイズ、理科実験、バイオディーゼルクーラー体験などを行いました。参加者はゆっくりと流れる時間の中で環境学習をしながらも、春ののどかなひと時を満喫していたようです。



○次回の会合 6月19(火)午後1時半～4時 場所:ボランティアインフォメーションセンター会議室

#### 【環境教育プロジェクトからのお願い】

環境出前講座のメニュー19種を一堂に集めた「平成24年度NEW環境出前講座」のリーフレットが出来上がりました。ここに同封します。現在幼稚園・小学校などに配布中ですが、皆様の周りで受講を希望しそうな団体、自治会、PTA、趣味の集まりなどへの紹介をお願いします。

#### ◎3Rプロジェクト

(担当 栗岡幹事 Tel 0742-23-4131)

○例会 4月23日(月)午前10時～12時(於:ボランティアインフォメーションセンター 参加者12名)  
レジ袋についての今年度の取り組み方法などについて検討しました。

#### ○サロン開催に協力

5月22日(火)午後開催された「もったいない」をテーマとしたエコエコサロンに参加することで、3Rプロジェクトの5月例会としました。DVDやパワーポイントを使い、レジ袋やペットボトルによる汚染、また食品ロスの実態などを紹介し、3Rの重要性をサロン参加者と共有しました。

また、ご持参いただいた不要な靴やカバンは、マツユキリサイクルさんへお渡ししました。

○次回例会 6月25日(月)午前10時～12時 (ボランティアインフォメーションセンター1-2会議室)  
内容: レジ袋の具体的な今年度の取り組みについて検討します。

## ◎交通プロジェクト

(担当 石田幹事 Tel 0742-46-6320)

○第25回会合 4月13日(金) 例会(於: 中部公民館第2会議室) 参加者7名

○第26回会合 6月12日(火) 例会(於: 中部公民館第2会議室) 参加者9名

アースデー用チラシの図案およびプロジェクト活動報告書案の内容を検討し、次の結果を得ました。

- ・チラシは2種類、A5型で各100枚(カラー紙にモノクロ印刷)用意する。
- ・プロジェクト活動報告書はモノクロ印刷しNEW総会出席者用に配布する。外部発信用も検討する。

この間4月22日のアースデーおよび5月19日のNEW総会に向けて交通プロジェクトのチラシと活動報告書(平成22年～23年度)を制作するための諸作業と24年度の年間活動計画を協議しました。

また、活動報告書の最終確認はメンバー間のメールで行い、完成したものを5月11日に70冊分の印刷、報告書本文部分の仕分けを行い(於ボランティアインフォメーションセンターで、参加者3名)、製本業者へ渡しました。この作業により大いに儉約が出来ました。

この報告書の提案をいかに政策に反映させるかが大きな課題です。一緒に考え、実行しませんか？

取り敢えず6月21日～7月2日、ボランティアインフォメーションセンターに於けるNEW紹介パネルに併せてチラシとともに展示する予定です。

## ○次回会合

日時:7月20日(金)午後2時～4時

場所:中部公民館

- 議題: 1)交通プロジェクト報告書概要版の検討  
2)24年度活動の具体策と優先順位、他

## 【 ご連絡 】

### ○パネル展示を準備中

6月21日～7月2日 ボランティアインフォメーションセンターのロビーと通路で開催される、ボランティア・NPO団体パネル展示(環境保全)にNEWとして出展するため、新たなパネル2枚を制作中です。是非展示会に見学に来て下さい。

○公民館などの予約で通用する、**24年度の減免カード**を取得しました。事務局に置いてありますので、連絡を取って下さい。

以上